

# 「子どもの宇宙」

副会長 稲葉 茂

平成29年(2017年)4月から、子ども・宇宙・未来の会の副会長に就任しました稲葉です。昨年7月に亡くなられた遠藤前副会長の後任としてその大役をお受けすることになり、大変プレッシャーを感じています。

さて、以前、遠藤先生から「子どもの宇宙」(子どもの時間と空間)という言葉をお聴きました。「これって何かなあ」、「どういう意味なのかなあ」と思いながら相模原「宇宙の学校」をやっていた時に子どもから学ぶことができました。

それは、「カエデの葉」を分類しているときでした。多くの子どもは、同じ形の葉を集めています。しかし、その子は、いろいろな形の葉が混ざった状態で真剣に分類していました。「あなたが分けた理由を教えてください」と聴くと「こ

っちの葉、穴の開いているもの、こっちは、空いてない葉っぱ。」……

「穴のあいてる葉とあいてない葉」……「そう、虫さんがおいしくて食べたい葉っぱと食べたくない葉っぱで分けたの」……まさしく「子ども宇宙」ってこのことだと思いました。いろいろな視点からものを見ることが大切さをこの子から気づかされたのです。

的川名誉会長がよく「宇宙の視座」という言葉を話されます。地球から宇宙を見ると果てしない非常に遠い世界です。しかし、逆の宇宙のあなたから地球を見ると地球がすべて見えてしまいます。見方を変えると見え方が違い、感じ方や考え方も変わってきます。

子どもは、育っていく時間と共にその活動空間を広げていきます。まさしく「子どもの時間と空間」、つまり「子どもの宇宙」が広がっていくのです。そんな中で子どもがいけるようなものに出会い多様な見方や考え方ができるように微力ながら頑張りたいと思います。

## 稲葉 茂 (いなばしげる) 略歴

1978年東京理科大学卒、神奈川県相模原市立中学校理科教師。  
相模原市教育委員会指導主事、市立中学校教頭、市教育委員会教育局参事兼総合学習センター所長、市立中学校校長、市立教育研究会会長、神奈川県公立中学校校長会教育研究委員会委員長。  
現在、相模原市教育委員会教育指導員、「さがみ風つ子教師塾」専任講師、相模原「宇宙の学校」代表、学びの共同体スーパバイザー。  
平成28年からKUMAM理事。

## 2016 年度 おとなの「宇宙の学校」



第1回高柳雄一理事による講演

2016年度の東京都国分寺市教育委員会主催の「おとなの『宇宙の学校』」は、KU-MA が協力して、2 回目の開催となりました。宇宙と科学の魅力に触れる大人向けの3回シリーズで、KU-MA 理事による講演と宇宙教育教材の紹介から成る講座です。今年度のテーマは「宇宙と人」。

第1回(12/17)は、高柳雄一理事の講演「私たちが星空から学んだこと」でスタートしました。約1万7千年前のラスコー洞窟に描かれたすばる(プレアデス星団)や青銅器時代の中国の天文学に始まり、人類が星空を観測しながら何を学んできたかについて現代に至るまでの歩みを概括しました。「人間は星のかけら」「遠くを見ることは過去を見ること」「私たちがこうして宇宙を覗いていることは、なんとも不思議なこと」「不思議を発見して解明することは無駄ではない」との言葉が印象的で、人類が遙か昔から宇宙の不思議を見つめながら発展してきたことが感じられました。続いて行われた「宇宙の学校」の教材紹介では、スチール風を参加者各自が作成しました。A4サイズの薄いスチロール板にセロテープで糸やあしを取り付けるだけですが、取り付け方や位置などで揚げ方が違ってくことを教室をぐるぐる風揚げして歩きながら体感しました。

第2回(1/14)は「宇宙への夢のつなぎ方ーロシアの場合ー」と題して菊地涼子理事が話をしました。あまり知られていないロシアの宇宙開発について、歴史を紐解き、打上げ基地など現地で撮影した豊富な映像・画像を取り入れながら解説を行いました。共産主義が否定され、ソ連という元の国が崩壊する激変を経ながらも、たゆまず続いてきたロシア流の宇宙へのアプローチが新鮮に映りました。教材紹介では、一人一台スロイトロケットを作り、机上で打ち上げました。

最終回の第3回(2/18)は、水谷仁理事による「生命が存在する惑星の条件」をテーマとした講演でした。まず、生命の存在する可能性のある星を見つけ、探査しようとするさまざまな試みや考え方が紹介されました。後半は、原初の地球においてどのような条件が組み合わさって生命が誕生することになったのか、水谷理事の深い研究と独自の考察が述べられました。地球の創成期には非常に大きかったと推定される潮汐作用を中心とした説は推理小説のように興味深く、話に引き込まれました。講演後の教材紹介では熱気球を作りました。

(総会資料に参加者アンケートを掲載しました。合わせてご覧ください。)



国分寺市教育委員会 松井教育長の挨拶



並木道義理事(当時)が教材実習を担当



第2回菊地涼子理事による講演



第3回水谷仁理事による講演

## 2017 宇宙の学校®開催地情報(予定)

今年も全国54の地域(会場)で開催を予定しています。たくさんの家族が家庭学習とスクーリングで、家族や地域の絆を深めていきます。これからの週末には、どこかの地域でスクーリングが行われています。お近くの会場の日程や開催模様は当会のホームページで確認できます。見学や開校などのご希望はお気軽に事務局へお問合せ下さい。

